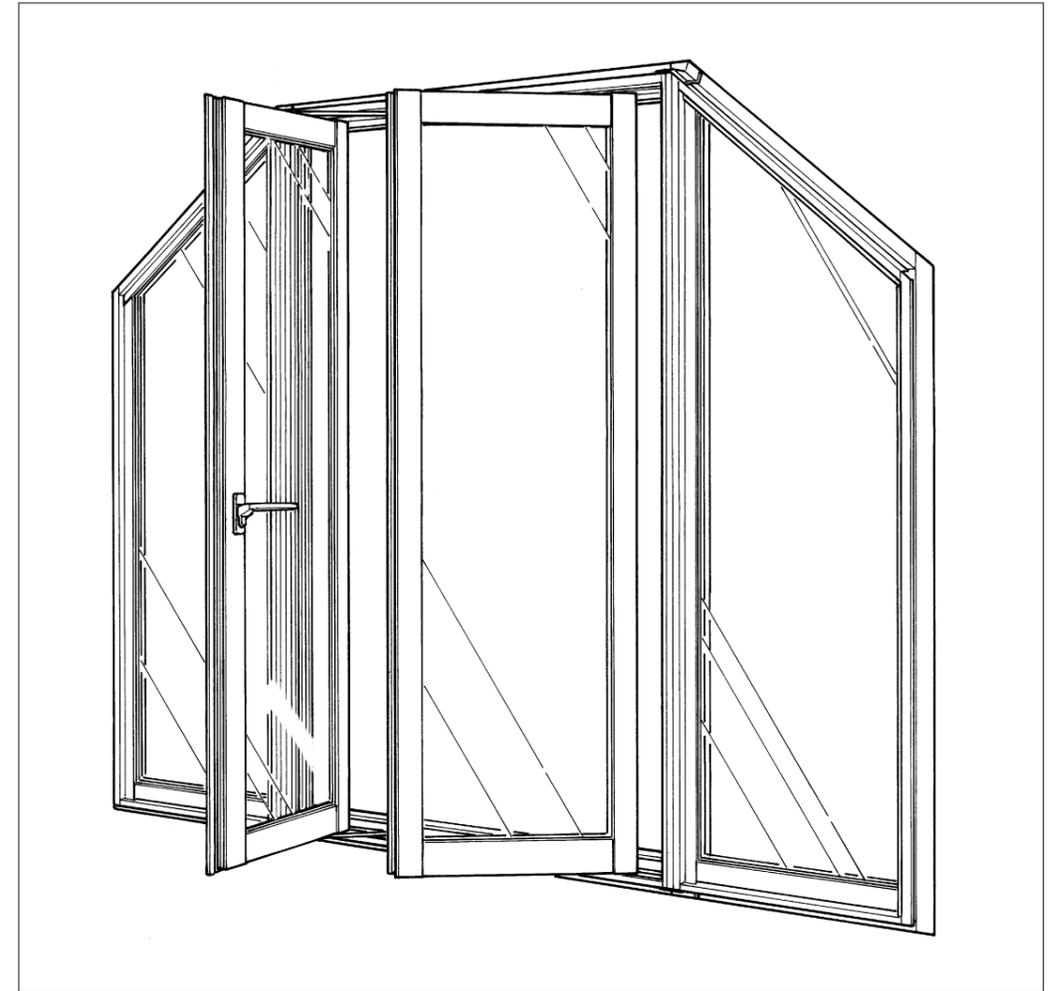


MAA-259D
ZN25
2004年12月1日発行



NCVオペラ

連結部品A・B・C・D・E 組立て説明書



■目次	
■連結部品A	1・2
■連結部品B	3・4
■連結部品C	5・6
■連結部品D	7・8
■連結部品E	9・10

TOSTEM
トステム株式会社
本社 〒136東京都江東区大島2-1-1

●この商品に関するお問い合わせ先 商品相談室 TEL03(3638)8181 FAX 012-012-6001

連結部品A

■組立てられる方へのお願い

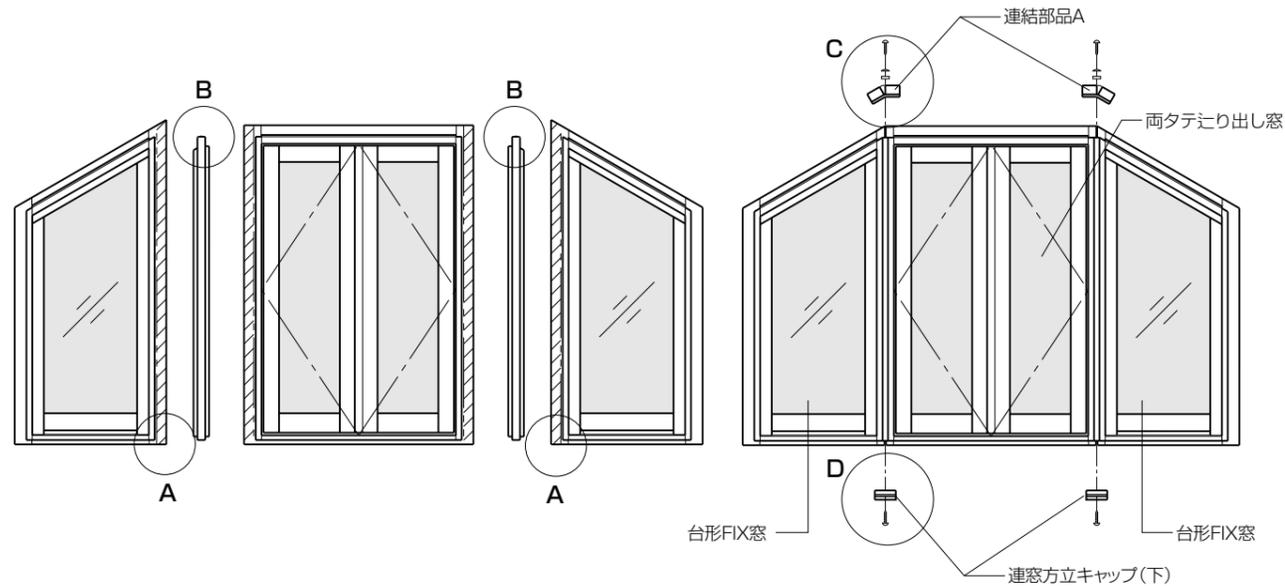
●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

組立て順序

■連結部品Aタイプ

1. 連窓方立の組立て説明書に従い各部を連結させます。
 2. 連結部品A及び連窓方立キャップ(下)を取付けます。
- ※連窓方立に同梱されている上部キャップは使いません。
 ※連結側の縦枠フィンの \square 部は、あらかじめ折り取っておきます。



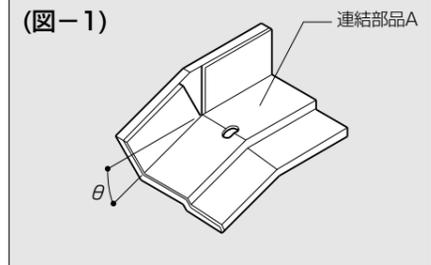
■詳細図

●縦枠フィンの折り取り(A部詳細)

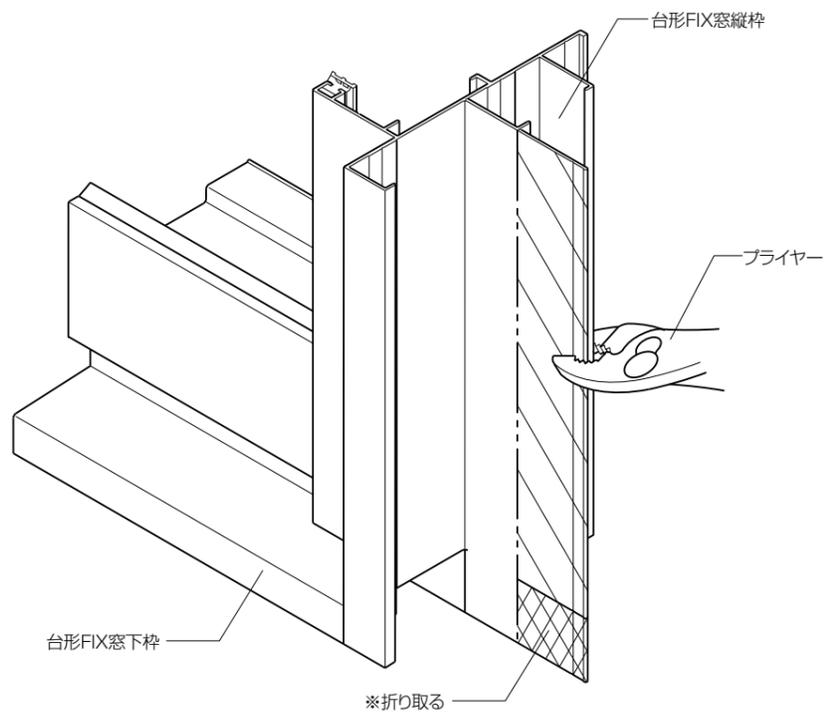
- ① 連結側縦枠フィンの下端 \square 部をあらかじめ折り取っておきます。
 - ② 次に \square 部をプライヤーで折り取ります。
- ※縦枠の破線部を1~2度カッターナイフで切れ目を入れるとより簡単に折り取れます。

●連結部品Aの角度調整について(図-1)

連結部品Aは、台形FIX窓の規格用に角度が設定してあります。
 (26.6° ……5寸勾配、31° ……6寸勾配)



●縦枠フィンの折り取り(A部詳細)



▲注意

●雨仕舞を確実にするために、指定個所は必ずシーリング材(シリコン系)(別途)で処理してください。

■お願い

●縦枠フィンの折り取り方はDタイプを参照してください。

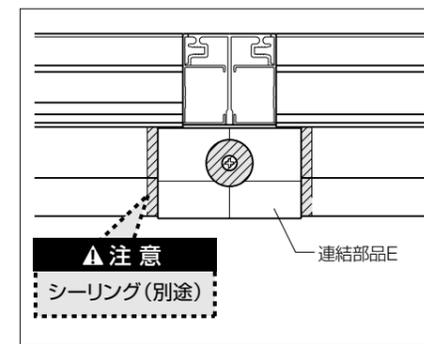
姿 図	連結部品Eタイプ(5寸勾配用・6寸勾配用)		
	連結部品E	連窓方立キャップ(下)	バインドタッピンねじ φ4×40
入数	2	2	各2

※本部品表のうち「」内は、連窓方立に同梱してあります。

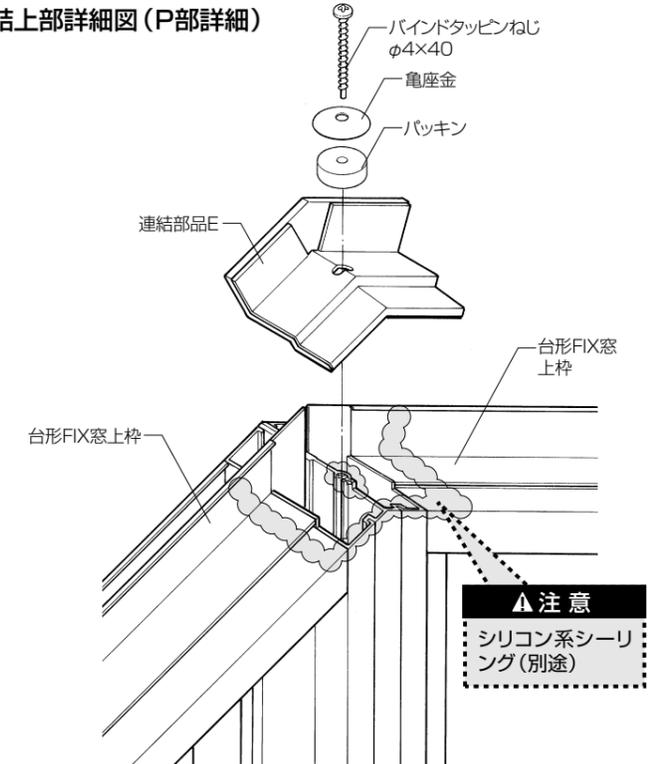
■詳細図

●連結部E及び連窓方立下部キャップの取付け(連結上部)(P部詳細)

- ① バインドタッピンねじ(φ4×40)に亀座金とパッキンを組み、連結部品Eを固定します。
- ② \square 部にシリコン系シーリング材(別途)を塗布します。



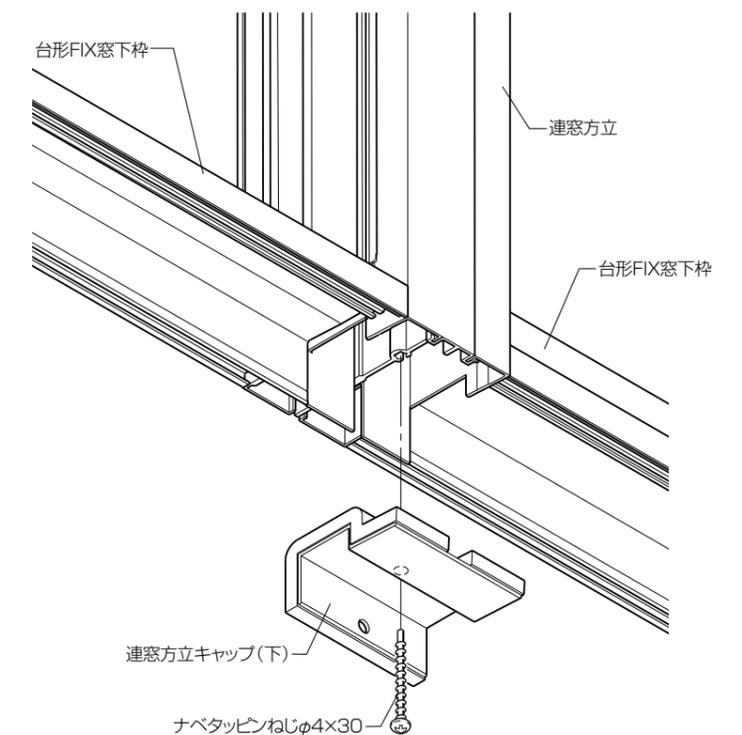
●連結上部詳細図(P部詳細)



〈連結下部〉(Q部詳細)

連窓方立に同梱してある連窓方立下部キャップをナベタッピンねじ(φ4×30)で固定します。

●連結下部詳細図(Q部詳細)



連結部品B

■組立てられる方へのお願い

●本説明書に使用されているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

組立て順序

連結部品Bタイプ

1. 連窓するサッシの内、H寸法の大きい方（両タテ出し窓）の連窓側縦枠にφ7の結露受けピース取付け穴加工をしてください。

※上げ下げ網戸・開き網戸・ロール網戸を取り付ける場合は必要ありません。

2. 連窓方立の組立て説明書に従い各部を連結させます。

3. 連結部品B及び連窓方立キャップ（上）を取付けます。

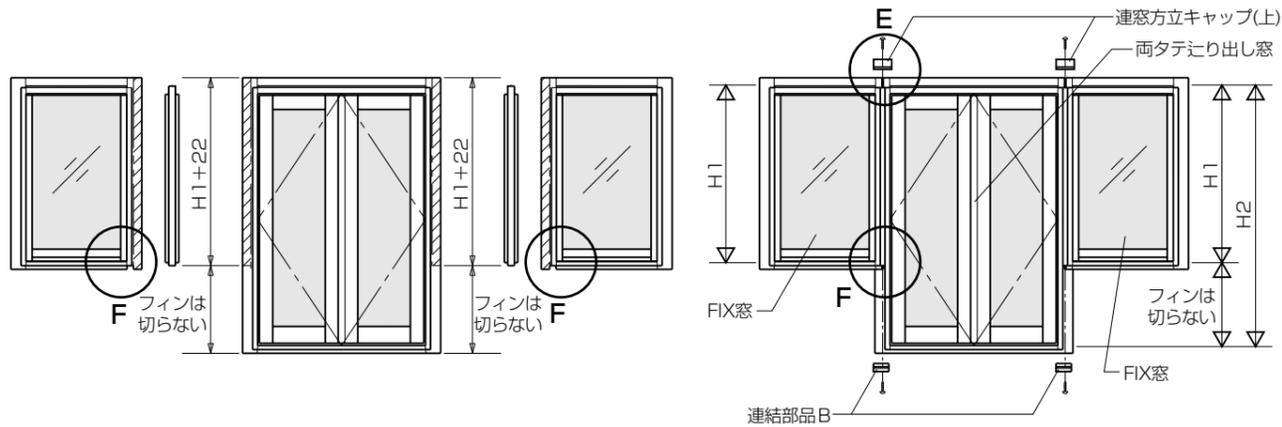
※連窓方立に同梱している下部キャップは使いません。

※連窓方立は本図の場合H1（FIX窓）の長さを使用します。

※連窓側の縦枠フィンの 斜線 部はあらかじめ折り取っておきます。

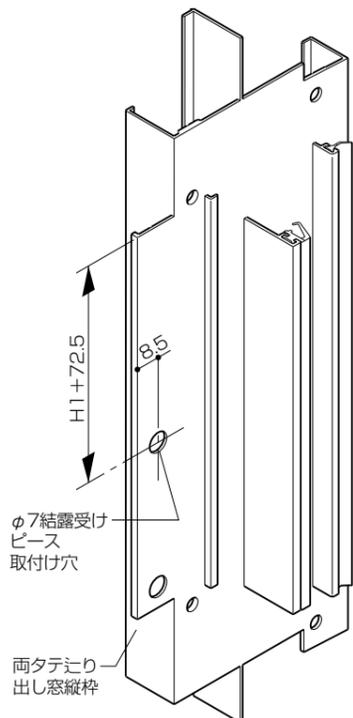
4. 方立結露受けピースを切欠き、シリコン系シーリング材で切欠き部の結露水道をふさいでください。

（対象製品名…引違い窓、ガラスルーバー窓及び上げ下げ網戸・開き網戸・ロール網戸を取付ける本体）

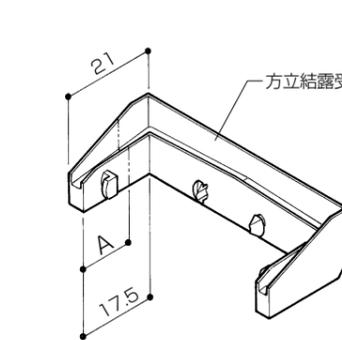


■詳細図

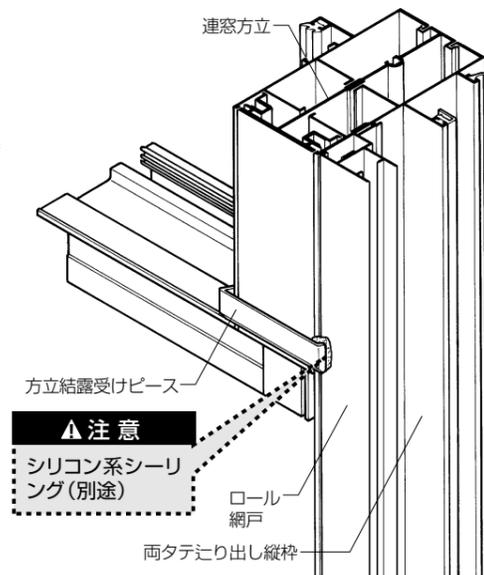
〈結露受けピース取付け穴加工〉



■方立結露受けピース切欠き寸法



方立結露受けピースの切欠き寸法		
製品名	A寸法	
ガラスルーバー窓	1.5mm	
引き違い窓	2.5mm	
網戸を取付ける本体	上げ下げ網戸	8mm
	開き網戸	12mm
	ロール網戸	17.5mm



▲注意
シリコン系シーリング(別途)

▲注意

●雨仕舞を確実にするために、指定箇所は必ずシーリング材(シリコン系)(別途)で処理してください。

■詳細図

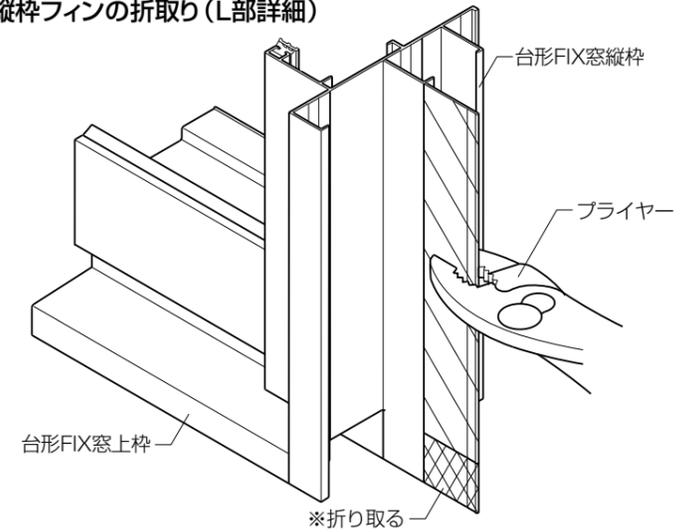
●縦枠フィンの折り取り(L部詳細)

①台形FIX窓の連結側縦枠フィンの下端 斜線 部をあらかじめ折り取っておきます。

②次に 斜線 部をプライヤーで折り取ります。

※縦枠の破線部を1~2度カッターナイフで切れ目を入れるとより簡単に折り取れます。

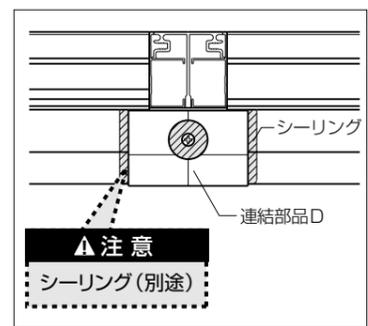
●縦枠フィンの折り取り(L部詳細)



●連結部品D及び連窓方立部のキャップの取付け〈連結上部〉(M部詳細)

①バインドタッピンねじ(φ4×40)に亀座金とパッキンを組み込み、連結部品Dを固定します。

② 斜線 部にシリコン系シーリング材(別途)を塗布します。

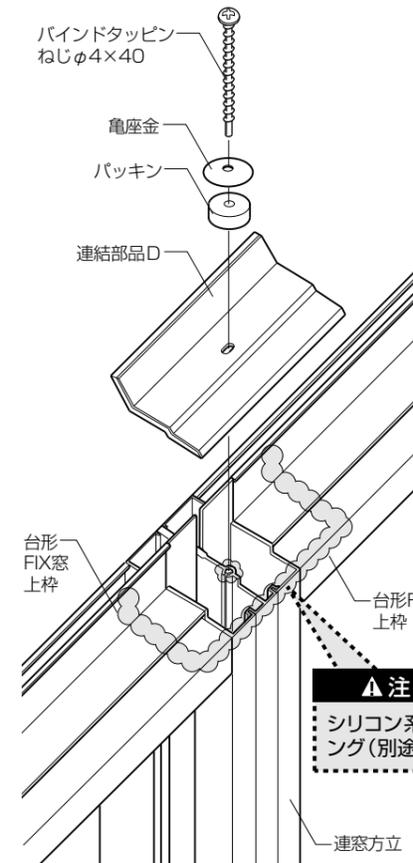


▲注意
シーリング(別途)

〈連結下部〉(N部詳細)

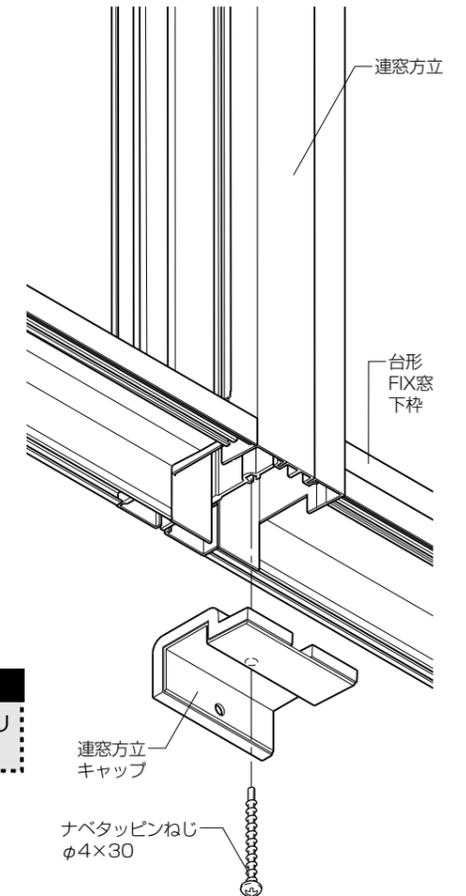
連窓方立に同梱してある連窓方立下部キャップをナベタッピンねじ(φ4×30)で固定します。

●連結上部詳細図(M部詳細)



▲注意
シリコン系シーリング(別途)

●連結下部詳細図(N部詳細)



姿図	連結部品Dタイプ		
	連結部品D	連窓方立キャップ(下)	バインドタッピンねじφ4×40
入数	1	1	各1

※本部品表のうち、 斜線 内は、連窓方立に同梱してあります。

連結部品C

組立てられる方へのお願い

●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

組立て順序

連結部品Cタイプ

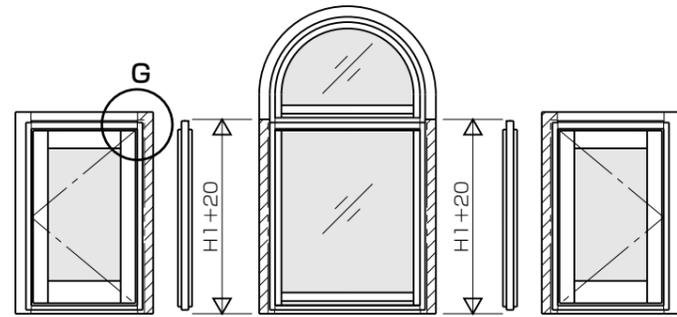
1. 段窓無目の組立て説明書に従い段窓部を連結させます。

2. 連窓方立の組立て説明書に従い連結させます。

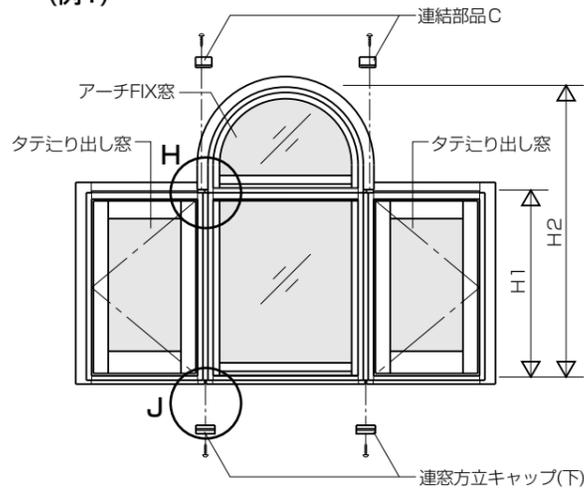
3. 連結部品C及び連窓方立キャップ(下)を取付けます。

※連窓方立は本図の場合H1の長さを使用します。

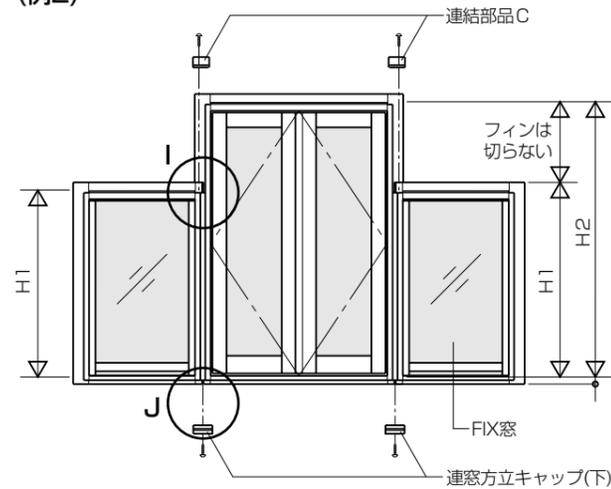
※連結側の縦枠フィンの \square 部はあらかじめ折り取っておきます。



(例1)



(例2)



詳細図

〈連結上部〉〈G,H,I部詳細〉

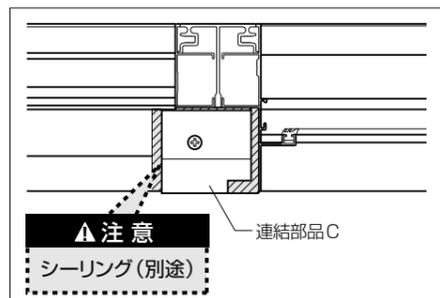
① 連窓するサッシの内、H寸法の小さい方の連窓側縦枠上部(\square 部)を折り取ります。

② 次に取付け裏板を上枠組立て用ねじで取り付けます。

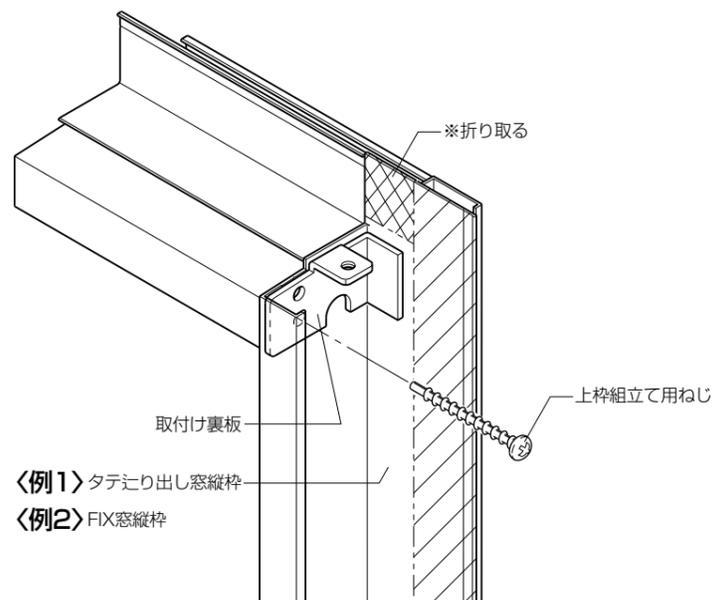
※取付け裏板の取付け位置は、縦枠フィンの切り欠きに合わせて決めてください。

③ 連結部品Cをナベ小ねじM4×10で取付け裏板に固定します。

④ \square 部にシリコン系シーリング材(別途)を塗布します。



●縦枠フィンの折り取り及び取付け裏板の取付け詳細図(G部詳細)



▲注意

●雨仕舞を確実にするために、指定箇所は必ずシーリング材(シリコン系)(別途)で処理してください。

●お願い

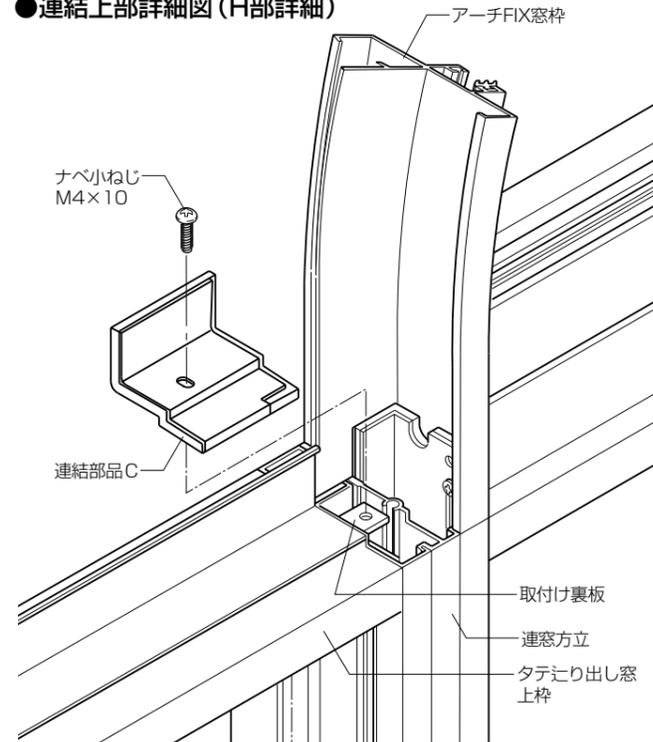
●縦枠フィンの折り取り方はAタイプを参照してください。

連結部品Cタイプ			
姿図			
入数	R・L各1	2	R・L各1

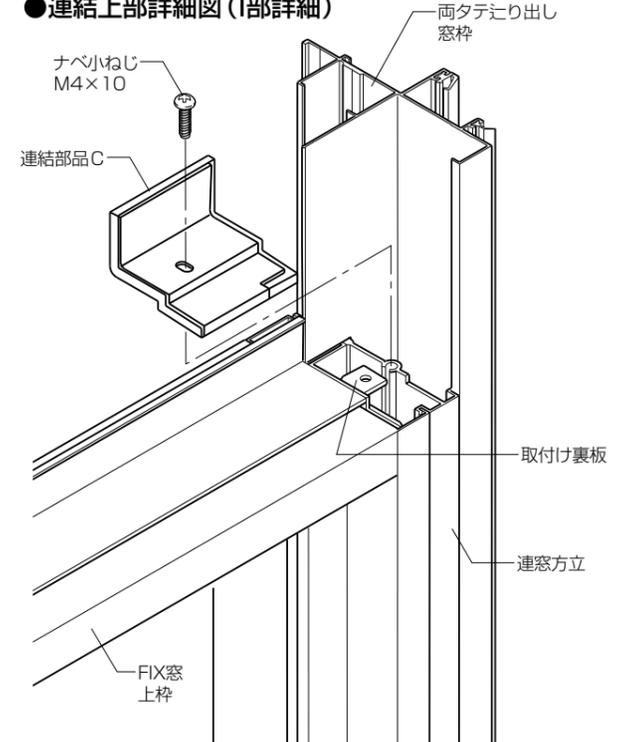
※本部品表のうち「」内は、連窓方立に同梱してあります。

●詳細図

●連結上部詳細図(H部詳細)



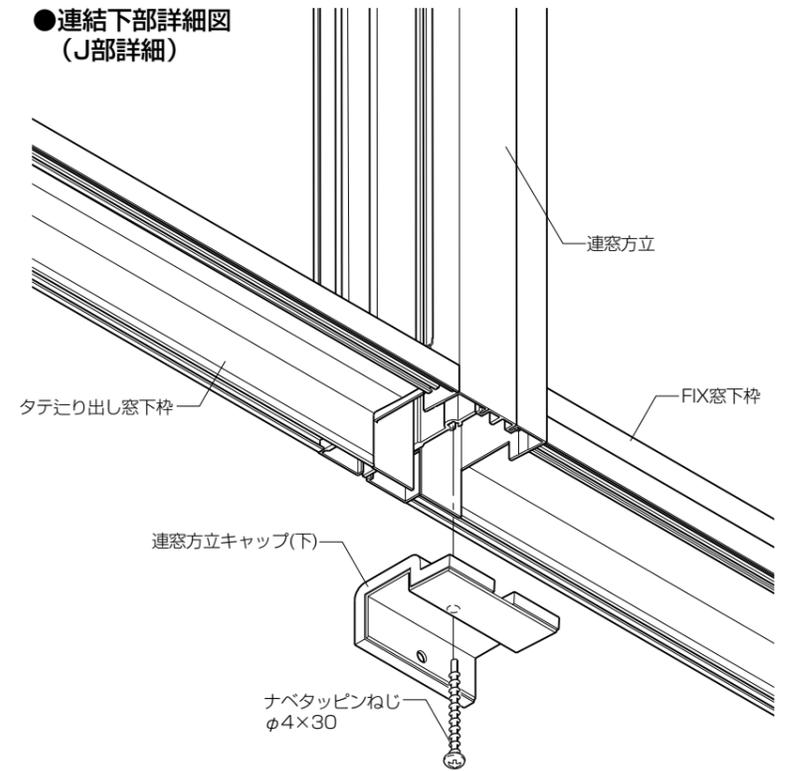
●連結上部詳細図(I部詳細)



〈連結下部〉〈J部詳細〉

連窓方立梱包内の連窓方立キャップ(下)をナベタッピンねじ(φ4×30)で固定します。

●連結下部詳細図(J部詳細)



連結部品D

■組立てられる方へのお願い

●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

組立て順序

連結部品Dタイプ

1. 連窓方立の組立て説明書に従い各部を連結させます。

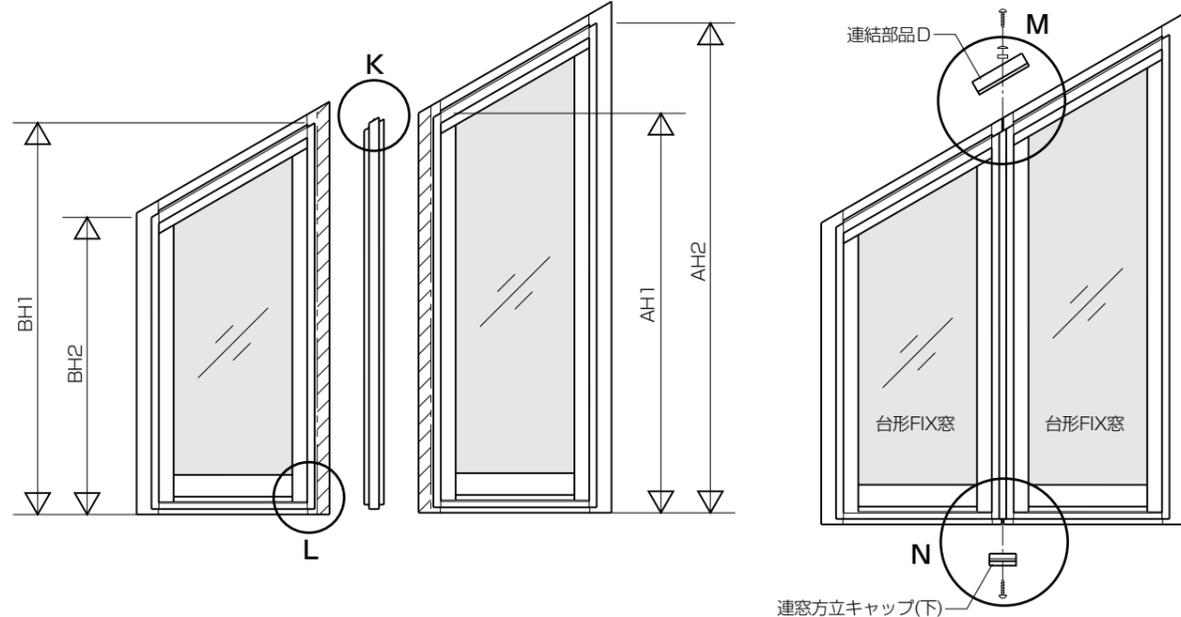
2. 連結部品D及び連窓方立キャップ(下)を取付けます。

※連窓方立Dタイプ用は通常の連窓方立よりも(3.5TANθ)mm長いものが必要になります。

1サイズ上の連窓方立をご指定ください。

※連窓方立に同梱されている上部キャップは使いません。

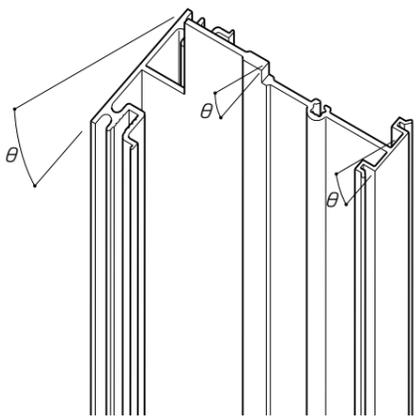
※連窓側の縦枠フィンの \square 部は、あらかじめ折り取っておきます。



■詳細図

●連窓方立の加工(K部詳細)

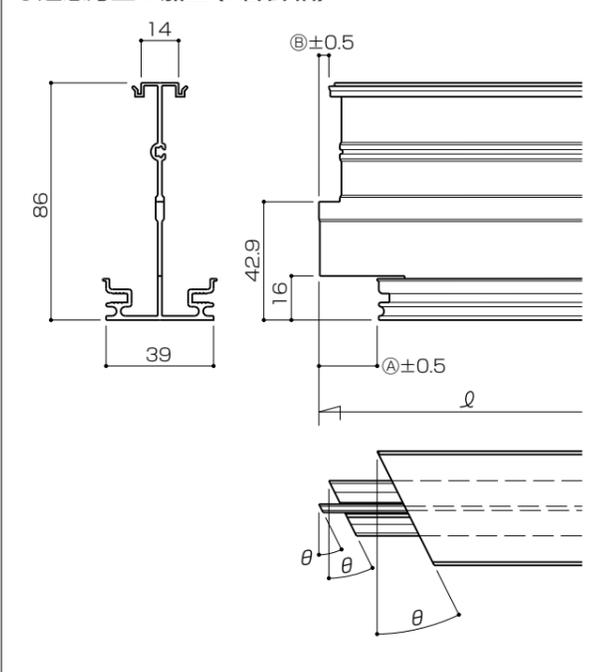
台形FIX窓の角度に合わせ、連窓方立の上部を加工してください。



●台形FIX窓が規格品の時

上枠勾配	5寸	6寸	計算式
角度(θ)	26.6°	31°	
切断寸法	BH1+11	BH1+11	BH1+9+3.5TANθ
④寸法	21.1±0.5	20.5±0.5	27.5/COSθ-19.5TANθ
⑤寸法	3.6±0.5	3.1±0.5	7/COSθ-8.5TANθ

●連窓方立の加工(K部詳細)



▲注意

●雨仕舞を確実にするために、指定箇所は必ずシーリング材(シリコン系)(別途)で処理してください。

■お願い

●縦枠フィンの折り取り方はAタイプを参照してください。

図	連結部品Bタイプ		
	連結部品B	連窓方立キャップ(上)	ナベタッピンねじφ4×30
入数	R・L各1	2	2

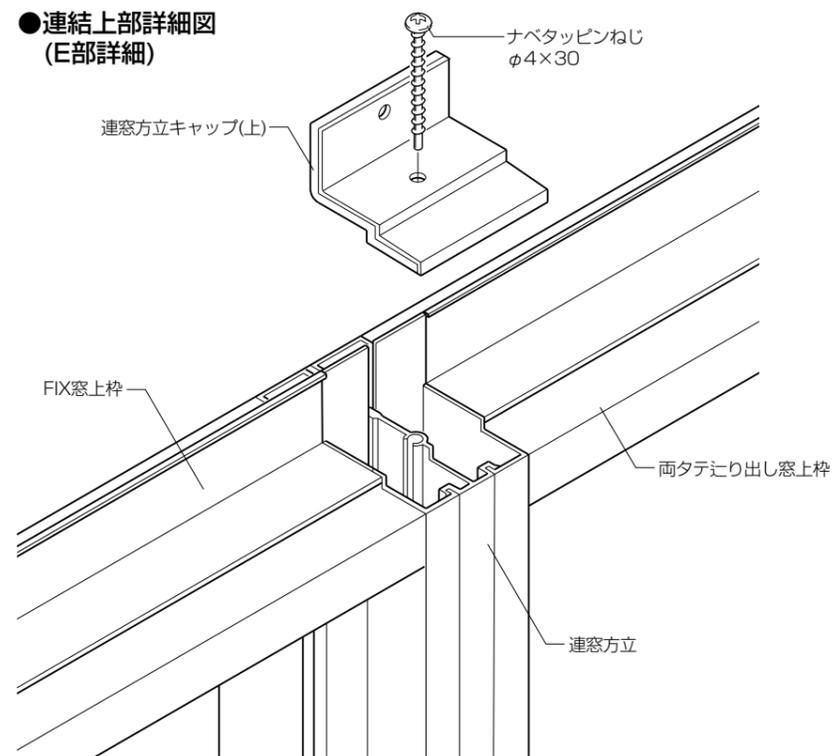
※本品目表のうち「」内は、連窓方立に同梱してあります。

■詳細図

〈連結上部〉〈E部詳細〉

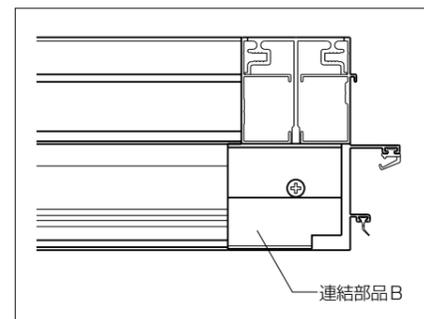
①方立梱包部品袋内の連窓方立キャップ(上)をナベタッピンねじ(φ4×30)でねじ止めます。

●連結上部詳細図(E部詳細)

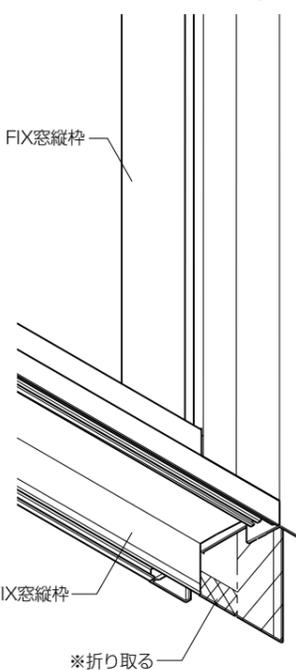


〈連結下部〉〈F部詳細〉

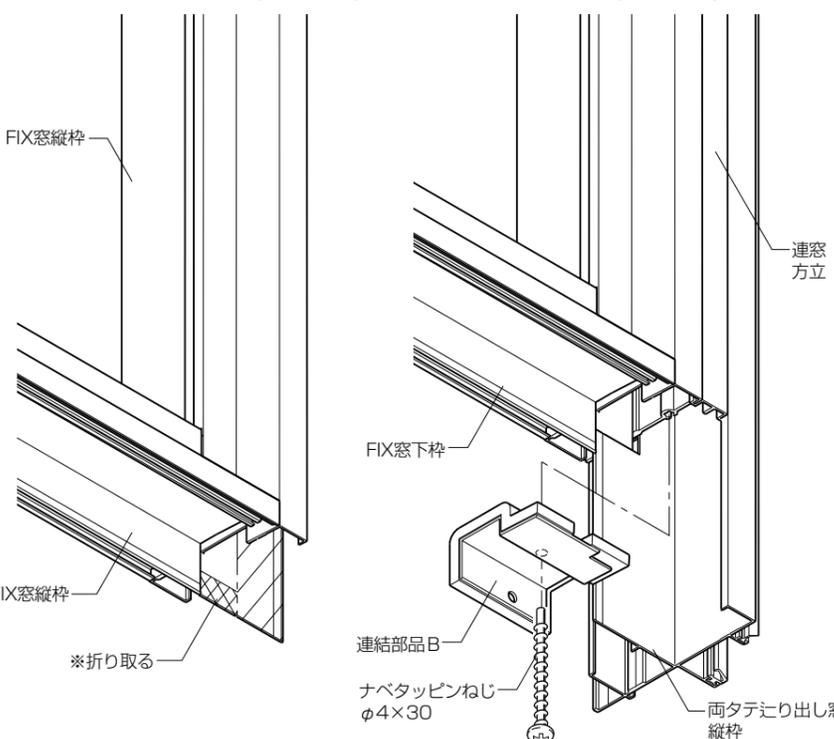
①連窓するサッシのうち、H寸法の小さい方の連窓側縦枠下部(部)を折り取ります。
②連結部品Bをナベタッピンねじ(φ4×30)でねじ止めます。



●縦枠フィンの折り取り(F部詳細)



●連結下部詳細図(F部詳細)



連結部品E

■組立てられる方へのお願い

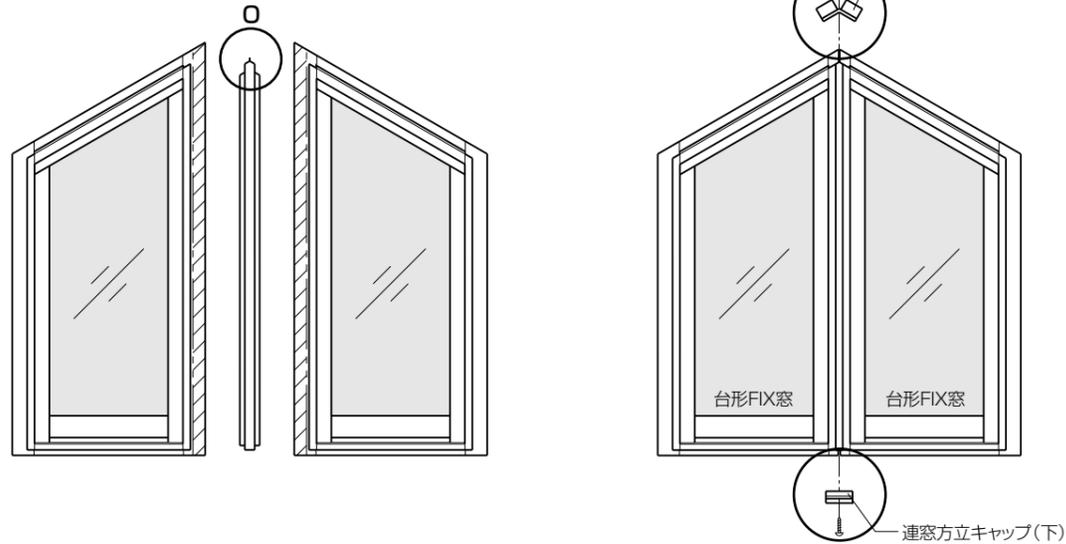
●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

組立て順序

連結部品Eタイプ

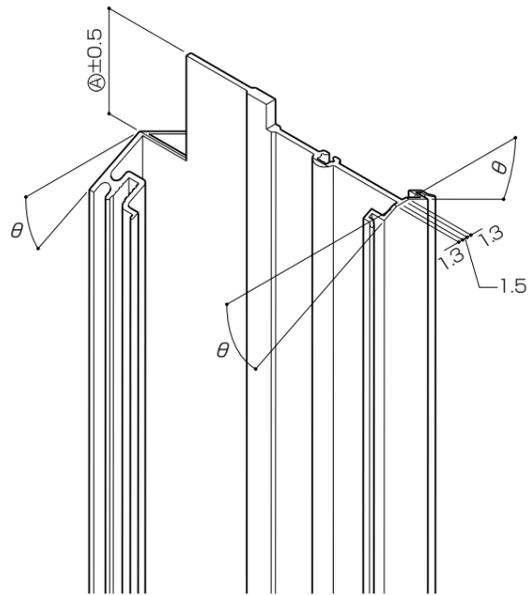
1. 連窓方立の組立て説明書に従い各部を連結させます。
 2. 連結部品E及び連窓方立キャップ(下)を取付けます。
- ※連窓方立に同梱されている上部キャップは使いません。
 ※連結側の縦枠フィンの  部は、あらかじめ折り取っておきます。



■詳細図

●連窓方立の加工 (O部詳細)

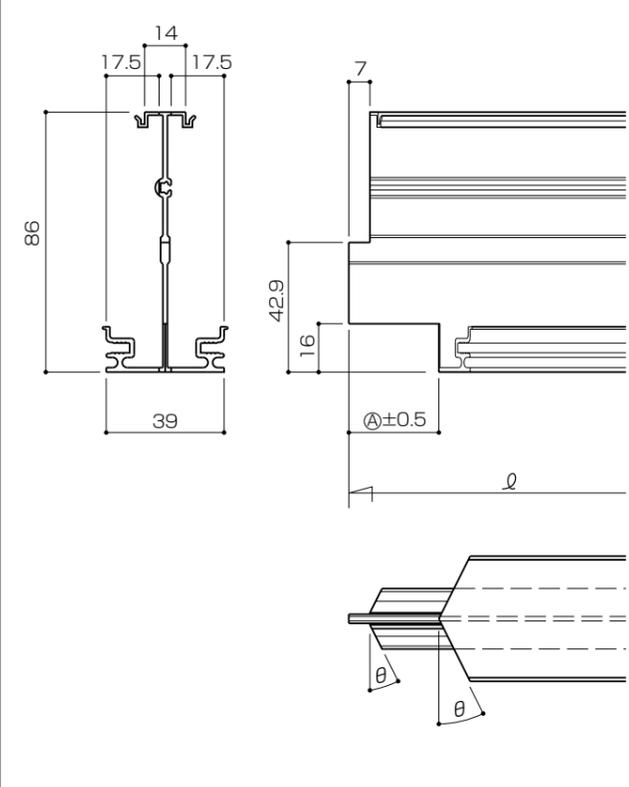
台形FIX窓の角度に合わせて、連窓方立の上部を加工してください。



●台形FIX窓が規格品の時

上枠勾配	5寸	6寸	計算式
角度(θ)	26.6°	31°	
①寸法	29.8	30.9	$27.5/\cos\theta - 2\tan\theta$

●連窓方立の加工 (Q部詳細)



▲注意

●雨仕舞を確実にするために、指定箇所は必ずシーリング材(シリコン系)(別途)で処理してください。

■お願い

●右部品表のうち[]内は、連窓方立に同梱してあります。

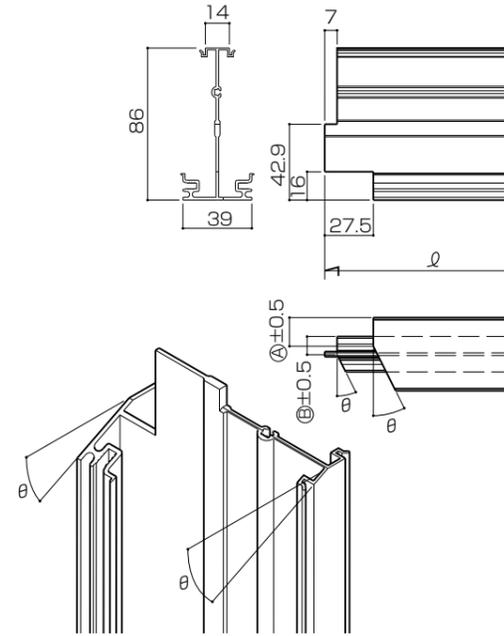
姿図	連結部品Aタイプ(5寸勾配用・6寸勾配用)		
	連結部品A	連窓方立キャップ(下)	ナベタッピンねじφ4×30
入数	2	2	各2

※本部品表のうち[]内は、連窓方立に同梱してあります。

■詳細図

●連窓方立の加工 (B部詳細)

台形FIX窓の角度に合わせて連窓方立の上部を加工してください。

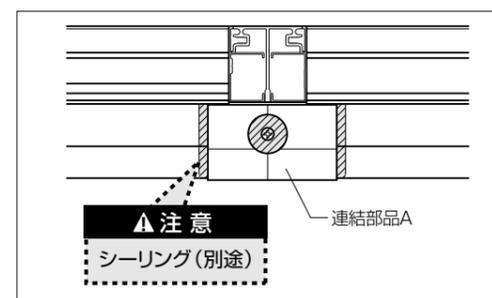


●台形FIX窓が規格品の時

上枠勾配	5寸	6寸	計算式
角度(θ)	26.6°	31°	
①寸法	16.2	15.1	$27.5 - (27.5/\cos\theta - 22.7 \times \tan\theta)$
②寸法	10.3	10.1	$7 - (7/\cos\theta - 12 \times \tan\theta)$

●連結部品A及び連窓方立下部キャップの取付け(連結上部)(C部詳細)

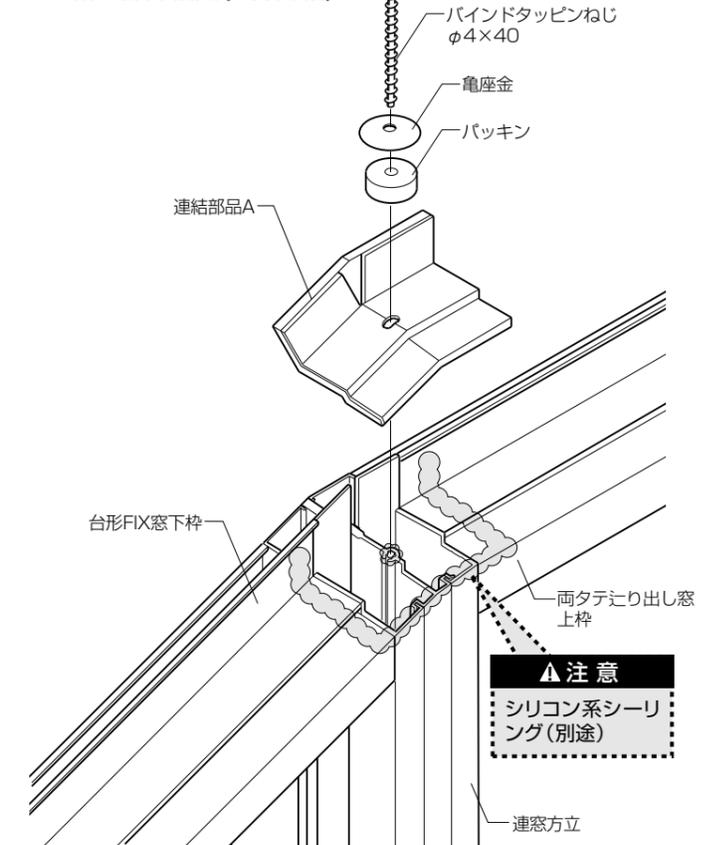
- ① バインドタッピンねじ(φ4×40)に亀座金とパッキンを組み込み、連結部品Aを固定します。
- ②  部にシリコン系シーリング材を塗布します。



〈連結下部〉(D部詳細)

連窓方立に同梱してある連窓方立下部キャップをナベタッピンねじ(φ4×30)で固定します。

●連結上部詳細図(C部詳細)



●連結下部詳細図(D部詳細)

